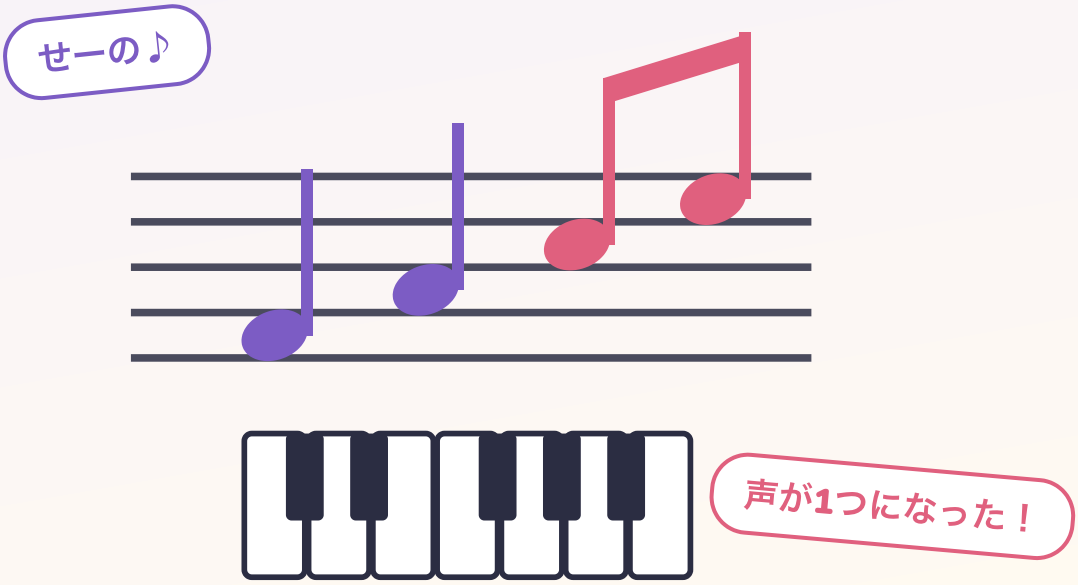
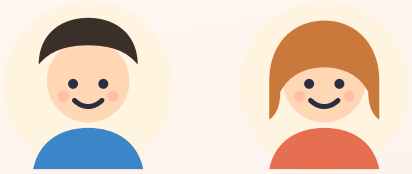
Season 3 | No.27



合唱のパート

声を合わせて、大きな響きをつくろう



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 声と体で感じる
音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2 本物の音を聴く
この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3 「やってみよう」は手と体で
答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken（ケン）
音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

合唱のきほん 3〜6
自分のパートを知る 7〜10
合わせる力 11〜15
合唱を楽しむ 16〜19
練習しよう 20〜24
ふり返り 25〜30

Lesson 1

合唱ってなに？

たくさんの声が集まって、合唱になります。

合唱とは、複数の人が声を合わせて歌うことです。同じメロディをそろえて歌うこともあれば、ちがう高さのパートに分かれて重ねて歌うこともあります。
学校の合唱コンクールや、地域の合唱団など、いろいろな場所で合唱が行われています。



ポイント

- 1人では出せない厚みのある響きが、合唱の魅力です。
- パートに分かれることで、より豊かなハーモニーが生まれます。

やってみよう

1. 合唱を聴いたり、歌ったりした経験があれば書こう。

書いて覚えよう

Lesson
2-3

ソプラノ・アルト

女声の2つのパートを知ろう。

ソプラノ

soprano

女声の中でいちばん高いパート

アルト

alto

女声の中で低めのパート

ポイント

- ソプラノは、メロディを担当することが多い高い声のパートです。
- アルトは、ソプラノより低く、響きを支える役割をもつことが多いパートです。
- どちらも合唱には欠かせない、大切なパートです。

やってみよう

1. 「あー」を高めの声と低めの声で歌い、どちらが出しやすいか感じよう。＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
4-5

テノール・バス

男声の2つのパートを知ろう。

テノール

tenor

男声の中で高めのパート

バス

bass

男声の中でいちばん低いパート

ポイント

- テノールは、男声の中でもよく通る高めの声のパートです。
- バスは、合唱全体を支える、いちばん低い声のパートです。
- 低い声が土台になることで、合唱全体が安定して聞こえます。

やってみよう

1. 低い声で「あー」と歌い、体にどう響くか感じよう。

書いて覚えよう

Lesson 6

混声・女声・男声合唱

合唱にもいろいろな組み合わせがあります。

種類	組み合わせ	特ちょう
混声合唱	女声＋男声	音の幅が広く、厚みがある
女声合唱	ソプラノ＋アルト	明るく澄んだ響き
男声合唱	テノール＋バス	力強く落ち着いた響き

ポイント

- 組み合わせによって、合唱の響きの印象が大きく変わります。
- 学校の合唱コンクールでは、混声合唱が多く行われています。

やってみよう

1. 3種類の合唱のうち、聴いてみたいものを1つえらぼう。＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 7

自分の声のパート

自分に合ったパートを見つけよう。

ポイント

- 出しやすい声の高さによって、向いているパートが変わります。
- 同じ人でも、成長や体調によって出しやすい高さが変わることがあります。
- パートは固定ではなく、合唱団や曲によって変わることもあります。

やってみよう

1. 高い声・低い声、どちらが出しやすいか試してみよう。
2. 自分に合いそうなパートを書こう。＿＿＿＿＿＿

ワンポイント パートに優劣はありません。どのパートも合唱に欠かせない大切な役割です。

書いて覚えよう

Lesson 8

パート練習のしかた

自分のパートを、しっかり覚えよう。

ポイント

- まずは自分のパートのメロディだけを、くり返し声に出して覚えます。
- 音源やピアノを使って、正確な音程で確認するのが効果的です。
- 覚えたら、ゆっくりのテンポから少しずつ本来の速さにしていきましょう。

やってみよう

1. 好きな合唱曲や童謡の1フレーズを、パート練習のように何度もくり返し歌おう。

書いて覚えよう

Lesson 9

ほかのパートを聴く

自分以外の声にも、耳をすませよう。

ポイント

- 自分のパートだけでなく、ほかのパートを聴くと全体の響きが分かります。
- ほかのパートを知っていると、合わせたときに自分の役割が見えやすくなります。
- 全体を聴く耳は、合唱を楽しむ力にもつながります。

やってみよう

1. 合唱の音源を聴き、自分のパート以外の声に注目してみよう。

書いて覚えよう

Lesson
10

全体の響きをつくる

パートが集まって、1つの響きになります。



Emma
自分のパートだけ完ぺきでも、合唱にはならないのかな？



Ken
そうだね。みんなのパートが合わさって、はじめて1つの合唱になるんだね。

ポイント

- それぞれのパートが正確でも、合わせる意識がないとまとまりません。
- 全体で1つの響きをつくるという気持ちが、合唱には大切です。

やってみよう

1. 家族や友だちと、それぞれちがう高さで「あー」と同時に歌ってみよう。

書いて覚えよう

Lesson
11

指揮を見る

指揮は、みんなをまとめる合図です。

ポイント

- 指揮者の動きは、テンポや強弱、歌い出しの合図になります。
- 楽譜だけを見ていると、指揮の合図に気づきにくくなります。
- 練習のときから、指揮を見る習慣をつけておくと本番で役立ちます。

やってみよう

1. 家族に手で拍子をとってもらい、それに合わせて手拍子をしてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 12

歌いだしをそろえる

出だしがそろうと、合唱が引きしまります。

ポイント

- 歌いだしがバラバラだと、それだけで合唱の印象が乱れてしまいます。
- 息を吸うタイミングをそろえると、声もそろいやすくなります。
- 指揮や合図をよく見て、心の中で拍を数えておくと合わせやすくなります。

やってみよう

1. 「せーの」の合図で、家族や友だちと同時に「あー」と声を出してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 13

ブレスをそろえる

息つぎの場所をそろえよう。

ブレス

breath

歌の中で息を吸うこと。息つぎ

ポイント

- ブレスの場所がバラバラだと、声の重なりが乱れて聞こえます。
- 楽譜に印をつけておくと、ブレスの場所をそろえやすくなります。
- フレーズの意味の切れ目でブレスをとると、自然に聞こえます。

やってみよう

1. 好きな歌詞の1フレーズに、ブレスをとる場所の印をつけよう。

書いて覚えよう

Lesson
14

バランスの取り方

パート同士の声の大きさを整えよう。

ポイント

- どのパートも同じ大きさで歌うと、メロディが埋もれてしまうことがあります。
- メロディのパートを少し聴かせ、ほかのパートは支えるように歌うとまとまります。
- 全体を聴きながら、自分の声の大きさを調節しましょう。

やってみよう

1. 自分の声を少し抑えて、周りの声がよく聞こえるか試してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 15

合唱の立ち位置

並び方にも、意味があります。

ポイント

- パートごとにまとまって立つと、声がそろいやすくなります。
- 背の高さや声の大きさによって、立つ位置が工夫されることもあります。
- お互いの声が聞こえる距離感も、合わせやすさに関わります。

やってみよう

1. 家族や友だちと並ぶとき、どんな並び方が歌いやすいか試してみよう。

書いて覚えよう

Lesson
16

パートリーダーの役割

パートをまとめる役目を知ろう。

ポイント

- パートリーダーは、自分のパートの音やタイミングをまとめる役目を持ちます。
- パート練習を進めたり、みんなの疑問をまとめたりすることもあります。
- リーダーでなくても、パートを支える意識を持つことは大切です。

やってみよう

1. 自分がパートリーダーだったら、どんなことを大切にしたいか書こう。

書いて覚えよう

Lesson 17

合唱曲を聴く

いろいろな合唱曲にふれてみよう。

ポイント

- 学校でよく歌われる合唱曲や、古くから伝わる合唱曲がたくさんあります。
- 同じ曲でも、演奏する団体によって響きの印象がちがいます。
- 気に入った合唱曲を見つけると、練習のモチベーションにもなります。

やってみよう

1. 知っている合唱曲を1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
2. まだ聴いたことのない合唱曲を1曲聴いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 18

合唱のマナー

気持ちよく合唱するための心がけを知ろう。

ポイント

- おしゃべりをせず、指揮者やほかの人の声に集中しましょう。
- 自分だけ目立とうと大声を出すのではなく、全体のバランスを大切にしましょう。
- パートを間違えたときも、周りを責めず、落ち着いて直しましょう。

やってみよう

1. 合唱で大切にしたいマナーを1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 19

合唱の本番

練習してきた力を、本番で発揮しよう。

ポイント

- 本番では、練習どおりにいかないこともありますが、それも合唱の一部です。
- 指揮とまわりの声をよく聴きながら、落ち着いて歌いましょう。
- 終わったあとは、うまくいった点をたくさん見つけてあげましょう。

やってみよう

1. 合唱の本番で、いちばん楽しみなことを書こう。

書いて覚えよう

Lesson 20

聴いてくらべよう

2つの合唱をくらべて、ちがいに気づこう。

くらべるところ	合唱A	合唱B
声のそろい方	そろう・ふつう・ばらつく	そろう・ふつう・ばらつく
パートのバランス	よい・ふつう・かたよる	よい・ふつう・かたよる
歌いだし	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿＿

ポイント

- 同じ曲でも、団体によってそろい方や響きの印象がちがいます。
- ○をつけるだけでもOK。まずは気づくことが大切です。

やってみよう

1. 合唱の音源を2つ聴きくらべて、表を完成させよう。

書いて覚えよう

Lesson
21-22

実際にやってみよう・ペアで練習

声を合わせて、そろえる練習をしよう。

A （合図）せーの

B （同時に）あー

A （ブレスの位置を示す）ここで息つぎ

B （そろえて）＿＿＿＿＿＿＿＿

ポイント

- 合図に合わせて同時に声を出す練習は、歌いだしをそろえる基本になります。
- うまくそろったときの感覚を覚えておくと、本番でも役立ちます。

ワンポイント 最初はそろわなくても大丈夫。合図をよく見て、くり返し練習しましょう。

書いて覚えよう

Lesson 23-24

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

歌いだしがバラバラ
合図をよく見ていない

自分のパートを忘れる
覚えこみが足りない

声が大きすぎる・小さすぎる
全体を聴けていない

コツ

こうしてみよう

指揮や合図に集中する
楽譜より先に目を上げる

パートだけ何度も練習する
1人でも歌えるようにする

周りの声を聴きながら歌う
自分の声を調節する

ポイント

- できないところは、少人数やゆっくりのテンポで練習しましょう。
- うまくそろった瞬間を、みんなで喜び合うことも大切です。

やってみよう

1. あなたが合唱でつまずきやすいことは？ _____
2. 上のコツから、1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 25

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

女声のパート

- ☐ **ソプラノ**
  女声でいちばん高いパート
- ☐ **アルト**
  女声で低めのパート

男声のパート

- ☐ **テノール**
  男声で高めのパート
- ☐ **バス**
  男声でいちばん低いパート

合わせる言葉

- ☐ **ブレス**
  歌の中で息を吸うこと
- ☐ **バランス**
  パート同士の声の大きさ
- ☐ **指揮**
  みんなをまとめる合図

合唱の種類

- ☐ **混声合唱**
  女声と男声の合唱
- ☐ **女声合唱**
  ソプラノとアルトの合唱
- ☐ **男声合唱**
  テノールとバスの合唱

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、パート練習もしやすくなります。

書いて覚えよう

Lesson 26

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

ソプラノ	●	● ア. 歌の中で息を吸うこと
アルト	●	● イ. 女声でいちばん高いパート
テノール	●	● ウ. 女声で低めのパート
バス	●	● エ. 男声で高めのパート
ブレス	●	● オ. 男声でいちばん低いパート

2. 合唱の4つのパートを書こう

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 女声でいちばん高いパート → （ ソプラノ ／ アルト ）
2. 男声でいちばん低いパート → （ テノール ／ バス ）

書いて覚えよう

Lesson 27

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	**4つのパートの名前を言える**	ソプラノ・アルト・テノール・バス
☐	**自分に合うパートを試した**	声の高さを知る
☐	**ブレスの位置を意識できる**	そろえる工夫
☐	**指揮や合図を見て合わせられる**	合わせる力
☐	**だれかと声を合わせて歌った**	合唱の体験

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 全部できなくても大丈夫。少しずつ増やしていけば十分です。

書いて覚えよう

Lesson 28

家でできる練習

毎日少しずつ、合唱の力を育てよう。

朝
高い声・低い声で「あー」と歌う

移動中
好きな合唱曲を聴く

おふろ
パートのメロディをくり返し歌う

夕方
ブレスの位置に印をつける

夜
今日気づいた合唱のポイントを書く

週末
家族と声を合わせて歌う

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることが合唱の力を育てます。

書いて覚えよう

Lesson
29-30

発表してみよう・感想を書こう

育ててきた合唱の力を、みんなと分かち合おう。

発表した日	
歌った曲	
担当したパート	
聴いてくれた人の感想	

Emma の例

発表した日 7月10日／曲 学校の合唱曲／担当したパート アルト／感想 声が周りとよく合っていたと言われた

感想を3文で書こう

① 合唱のパートを学ぶ前は、〜でした。② 今は、〜ができるようになりました。③ これからは、〜を大切にしたいです。

書いて覚えよう

Lesson
31-32

もっと知りたい人へ・次のステップ

声を合わせる力は、これからも育っていきます。

もっと知りたい人へ

合唱団で
地域や学校の合唱に参加する

演奏会へ
生の合唱を聴きに行く

動画で
いろいろな合唱編成を見る

次のステップ

童謡・唱歌
日本の歌をみんなで歌う

英語の歌
ちがう言葉の歌に挑戦する

1曲を通す
最初から最後まで歌いきる

ポイント

- この教材の次は「童謡・唱歌を歌う」。合わせる力を、日本の歌にも生かしていきます。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 合唱とは、どんなものですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 自分に合いそうなパートは？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. これから続けたいことは？＿＿＿＿＿＿＿＿

合唱ミッションカード

MISSION 1
自分に合うパートを歌ってみる

MISSION 2
ブレスの位置に印をつける

MISSION 3
合唱曲を1曲最後まで聴く

MISSION 4
家族と声を合わせて歌う

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson
34

合唱のパートチャレンジ

毎日の中でも、合唱の力はすぐに育てられます。

知ろう

4つのパートの名前を覚える

そろえよう

「せーの」で歌いだしを合わせる

聴こう

合唱曲を1曲最後まで聴く

こたえ

L26 ソプラノ→イ アルト→ウ テノール→エ バス→オ ブレス→ア
2. ソプラノ ／ アルト ／ テノール ／ バス　3. ソプラノ ／ バス

L33 （例）合唱は、ソプラノ・アルト・テノール・バスなどのパートが合わさって1つの響きになるもの。

書いて覚えよう

合唱のパート（Season 3 ｜ No.27）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。